

コンクリートがれき有効利用技術

1. 技術の名称	溶融スラグの土木材料としての活用技術							
2. 有効利用技術の区分								
①処理方法	<input type="checkbox"/> 無処理 <input type="checkbox"/> 分別 <input type="checkbox"/> 破碎 寸法: <input type="checkbox"/> 300mm以上 <input type="checkbox"/> 300mm以下 <input type="checkbox"/> 100mm以下 <input type="checkbox"/> 40mm以下 <input type="checkbox"/> 20mm以下 <input type="checkbox"/> その他 破碎方法() <input type="checkbox"/> その他							
②用途	<input type="checkbox"/> コンクリート用骨材 <input type="checkbox"/> 盛土材 <input checked="" type="checkbox"/> 埋戻し材 <input checked="" type="checkbox"/> 路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ケーソン中込材・路床材・かさ上げ材)							
②その他								
3. 技術の内容								
①基本的考え方								
一般廃棄物及び産業廃棄物を焼却した残渣の焼却灰を高温で溶融固化し、無害化した後生成された溶融スラグを復旧の土木材料として埋戻し材、路盤材、ケーソンの中込材、路床材及びかさ上げ材等に使用する。								
②対象とするコンクリートがれき								
③技術の概要(処理方法、使用材料、機械設備等)								
<pre> graph LR A[一般廃棄物 産業廃棄物] --> B[焼却灰] B --> C[電気炉による 溶融固化] C --> D[溶融スラグ] D --> E[破碎・整粒] E --> F[土木材料として活用(0~40mm品)] </pre>								
④本技術を活用し、得られた目的物の性状等								
【溶出量試験】		【物性試験】						
分析項目	カドミウム	鉛	六価クロム	砒素	物性項目	溶融スラグ	下層路盤材規格	
基準	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.01以下	比重(表乾) %	2.9	2.45以上	
試験結果	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	吸水率 %	2.6		
分析項目	総水銀	セレン	フッ素	ホウ素	すりへり %	30.2	50%以下	
基準	0.0005以下	0.01以下	0.8以下	1以下	修正CBR %	78	30%以上	
試験結果	<0.005	<0.002	<0.1	<0.01				
【含有量試験】								
試料名	Cd	6価クロム	Hg	Se	Pd	As	F	B
定量下限値	≦0.1	≦0.5	≦0.05	≦0.1	≦0.5	≦0.5	≦100	≦0.5
基準	≦0.1	≦250	≦15	≦150	≦150	≦150	≦4000	≦4000
試験結果	≦0.1	≦0.5	≦0.05	≦0.1	≦5	≦0.5	≦750	≦170
⑤利用先・用途(実績等) * 適用できない場合なども含めて記述								
・すでに土木材料(路盤材)として、ゼネコン及び道路メーカーに販売している。								
⑥特許・技術審査証明・NETIS登録状況等								
⑦コスト								
4. 意見等								
5. 連絡先								
会社名	中電興産株式会社		担当者	今村 太一		所属・役職	常務取締役	
所在地	〒314-0014 茨城県鹿嶋市光4番地					TEL	0299-84-3413 E-Mail t.imamura@chu-den.co.jp	